

# 伝統文化の源流に触れる

2015年11月22日(日)

■12:30～開場 ■13:00～開演 ■15:30終了予定 ■会場：国立文楽劇場・小ホール

## <第1部> 伝統工芸について

題名：「茶の湯釜」 講演：川邊 庄造氏



●川邊庄造(かわべ・しょうぞう)

1952年(昭和27年)生まれ奈良県出身。父二代目庄造に茶の湯釜造りの技法を学び、その後数江瓢鮎子(かづえひょうねんし)、古賀健蔵の両氏から指導を受ける。2004年(平成16年)に三代目庄造を襲名し、伝統と使いやすさを大切にしつつ、新しいころみの作品に力を注ぎ、和鉄(わずく)釜の製作にも意欲的に取り組んでいる。奈良西大寺に「大茶盛」の大釜を奉納する他、奈良秋篠寺(常住釜)、大徳寺徳禪寺、東大寺北林院・宝珠院(常住釜)、中宮寺、薬師寺、橿原神宮、伊勢神宮、日光東照宮に釜を奉納する。野村美術館他各地において作品展を開催する他、近年は長女尚子(しょうこ)氏との父娘展を開催するなどの活動もある。

茶の湯釜の製造において、その素材となる和鉄(わずく)は、日本古来のたたら製鉄によって山砂鉄と木炭から作られた鉄鉄です。鉄鉱石と石炭から作る洋鉄に比べ、純度が高く、腐食に強い特性を持っていますが、一般的な铸铁よりも、铸造が難しいといわれています。今回は、川邊 庄造氏をお迎えして「茶の湯釜」についてお話しいただきます。

## <第2部> 長唄・三味線

演奏：伝の会

いまわむかしくるわのひともし かえごろもやみよのつればき

演目：1.開きのギッチョ 2.今昔廓一字 3.衣替闇連弾

4.河 ※予告なく演目が変更になる場合がございます。

伝えたいこといっぱいあるから「伝の会」。日本の伝統音楽を受け継ぐ長唄三味線方、杵屋邦寿氏と松永鉄九郎氏の二人が、平成元年に結成したユニットです。目をみはるバチさばぎと迫力ある演奏に、軽快なトークを交えたライブで、古き良き長唄の魅力の皆様にお届けします。



きねや くにとし  
杵屋 邦寿氏

●杵屋邦寿(きねや・くにとし)

1957年(昭和32年)生まれ東京都出身。18歳の時に三味線と出会う。1989年(平成元年)「伝の会」を結成、翌年に独立して杵屋邦寿となる。劇団文化座・花組芝居・劇団前進座他、若手劇団等の芝居音楽の作曲、プラン、演奏も数多く手掛けている。松竹歌舞伎・平成中村座・劇団新派・劇団前進座・藤山直美公演・坂東玉三郎特別公演・名古屋むすめ歌舞伎等で、舞台師としての活動もある。



まつなが てつこう  
松永 鉄九郎氏

●松永鉄九郎(まつなが・てつこう)

1960年(昭和35年)生まれ東京都出身。大学在学中に松永鉄十郎の内弟子となる。松永忠五郎・松永和佐次郎に長唄三味線を師事。2008年「テックロの会」を開催後、2010年～11年にはひとり会「鉄九郎のわがまま」を毎月主催。2013年からは「長唄の会」を年4回開催中。長唄三味線方として歌舞伎公演、舞踊会、演奏会に出演する傍ら音楽監督・作曲も手がけるなどその活動の場を広げている。

現地ご案内



●会場／国立文楽劇場小ホール(大阪市中央区日本橋1-12-10)  
最寄駅： 堺筋線・千日前線「日本橋」駅下車  
7番出口より徒歩1分

●参加無料  
事前にハガキもしくはメールに住所・氏名・電話番号をご記入の上、下記までお申し込みください。

●主催・連絡先／一般社団法人老人文化会議(大阪市西区江之子島1-7-3)

TEL:06-6444-2777

E-mail:info@eldernets.or.jp

※お送りいただいた個人情報はこのイベントおよび、当法人が今後開催するイベントの際にのみ使用させていただきます。